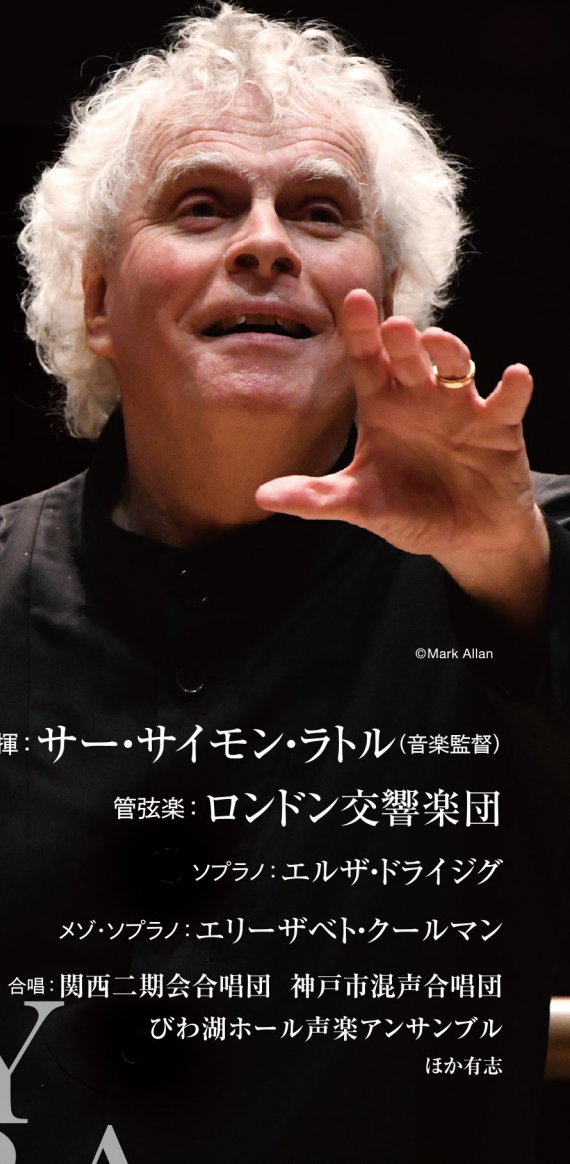


第24回 京都の秋 音楽祭
京都コンサートホール開館25周年記念事業

ロンドン交響楽団

京都公演



©Mark Allan

復活と救済の叫び

指揮：サー・サイモン・ラトル(音楽監督)
管弦楽：ロンドン交響楽団
ソプラノ：エルザ・ドライジグ
メゾ・ソプラノ：エリーザベト・クールマン
合唱：関西二期会合唱団 神戸市混声合唱団
びわ湖ホール声楽アンサンブル
ほか有志

LONDON SYMPHONY ORCHESTRA

©Igor Emmerich

Program

マーラー
交響曲第2番 ハ短調「復活」

Gustav Mahler: Symphony No.2 in C minor "Resurrection"



©Ólafur Steinar Gestsson

エルザ・ドライジグ

©Stephan Polzer

エリーザベト・クールマン

2020 10.4日 16:00開演
(15:00ロビー開場、15:15完全開場)

京都コンサートホール 大ホール

Sunday, 4 October 2020 at 4 p.m. Kyoto Concert Hall Main Hall

全席指定 S席:22,000円 A席:19,000円 B席:16,000円
C席:13,000円 D席:9,000円

[会員] S席:21,000円 A席:18,000円 B席:15,000円
C席:12,000円 D席:8,000円

※学生割引/シニア割引(70歳以上)/障がいのある方割引:各席1,000円割引
(京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱。窓口でご本人様が証明証等をご提示ください。)

■会員*先行:4月4日(土)10:00~ 一般発売:4月11日(土)10:00~
*会員:京都コンサートホール・ロームシアター京都Club会員及び京響友の会の会員が対象です。

主催:京都市/京都コンサートホール(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)
協賛:株式会社ゼロ・コーポレーション 後援:ブリティッシュ・カウンシル

※都合により出演者や内容等が変更になる場合がございます。その際、チケットの払い戻し、キャンセル等はいしつかねますので、予めご了承ください。 ※会員先行期間中に売切となった場合、一般発売にお席をご用意出来ない可能性があります。
※チケットの転売は固くお断りいたします。万が一そのような行為が頻繁に見受けられた場合、転売席のチケットをお持ちのお客様にご本人様確認を行い、ご入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。
※未就学児の入場はご遠慮ください(託児室あり/1歳以上/定員有/有料(1,000円)/9月27日(日)までに要予約(075-711-2980)。

チケットのお問い合わせ・お申込み

京都コンサートホール TEL.075-711-3231

10:00~17:00/第1・第3月曜日休 ※休日の場合はその翌平日
京都市左京区下鴨半木町1-26 地下鉄「北山」駅③番出口より南へ徒歩5分

■オンラインチケット購入

<https://www.kyotoconcerthall.org> 京都コンサートホール 検索

■プレイガイド ロームシアター京都 TEL.075-746-3201

(10:00~19:00/年中無休 ※臨時休館日を除く)

チケットぴあ TEL.0570-02-9999(Pコード:172-699)

ローソンチケット <https://l-tike.com> (Lコード:54748)



supported by 100年住宅の ゼロホーム

「蘇るだろう、そう 汝は蘇るだろう、直ちに、我が心よ!」

©Mark Allan

Aufersteh'n, ja aufersteh'n wirst du, Mein Herz, in einem Nu!

サー・サイモン・ラトル×ロンドン交響楽団の黄金コンビで聴く、マーラーの大傑作!

ロンドン交響楽団

London Symphony Orchestra

世界最初期の自主運営のオーケストラとして1904年に発足。ロンドン響(以下LSO)の起業家精神は、今日まで脈々と受け継がれている。

LSOは1982年から、バービカン・センターのレジデント・オーケストラとして活動を続けてきた。年間70以上の公演をロンドンで、また年間50~60公演を世界各地で行っている。並行して、英国初の試みの一つに数えられる先駆的なコミュニティ&教育プログラム「LSOディスカバリー」を、教会を改装した音楽拠点「LSOセント・ルークス」で展開し、演奏会やワークショップなどを企画している。いっぽうでLSOは、現代音楽の普及・支援にも情熱を注いでおり、英国の主要な作曲家たちに新たなオーケストラ作品を定期的に委嘱するとともに、自国の若手指揮者たちの育成にも取り組んでいる。

LSOは、現在の音楽監督サー・サイモン・ラトル、首席客演指揮者ジャンナンドレア・ノセダ、同フランソワ・グザヴィエ・ロト、桂冠指揮者マイケル・ティルソン・トーマスらと、家族のように密な関係、そして伝統の音を育てている。さらに、世界に名だたる指揮者たち・ソリストたちが、LSOの限りない音楽的野心に深く共感し、楽団と長年にわたり協力関係を結んでいる。

その歴史の中で絶えずイノベーションを追求してきたLSOは、今日も時代の先端を走り続けている。実際楽団は、1999年に立ちあげた自主レーベル「LSO Live」によって、オーケストラ公演のライブ録音とその普及の在り方に革命をもたらした。以来「LSO Live」は、150以上の録音をリリースしており、デジタル映像やブルーレイ・オーディオ、ダウンロードやストリーミングを一早く取り入れるなど、つねに最新のテクノロジーに門戸を開いていもいる。またLSOは、他の楽団にも増して膨大な数の録音を誇っており、数百万人のひとびとが、数々の映画音楽を通じてLSOの演奏に親しんでもいる。LSOがサウンドトラックに参加した主な映画として、『スター・ウォーズ』『英国王のスピーチ』『シェイク・オブ・ウォーター』『インディ・ジョーンズ』が挙げられる。

サー・サイモン・ラトル(指揮)

Sir Simon Rattle, Conductor

英国リヴァプール出身。ロンドンの英国王立音楽院で学ぶ。1980年にバーミンガム市交響楽団の首席指揮者およびアーティストック・アドバイザーに就任。1990年から1998年まで、同団の音楽監督を務めた。2002年、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の芸術監督・兼・首席指揮者の地位に就き、2017/2018年シーズンの終わりまで同団を率いた。2017年9月より、ロンドン交響楽団の音楽監督を任されている。



©Oliver Helbig

これまで70以上の録音をEMI(現ワーナー・クラシックス)から発表。EMIを含む多数のレーベルからリリースされたラトルのアルバムは、世界中の数々の誉れ高いレコード賞に輝いている。近年にはロンドン交響楽団の自主レーベル「LSO Live」に様々な作品を録音している。

ラトルはベルリン・フィルとともにバーデン＝バーデン・イースター音楽祭やザルツブルク・イースター音楽祭、エクサン＝プロヴァンス音楽祭などでワーグナー《ニーベルングの指環》全4部作をはじめ、多彩なオペラ作品や交響作品をとりあげたほか、ベルリン・ドイツ・オペラとウィーン国立歌劇場でも《指環》を指揮した。このほか近年には、メトロポリタン歌劇場やロイヤル・オペラ・ハウス、ベルリン国立歌劇場などで《トリスタンとイゾルデ》《ピーター・グライムズ》《ペレアスとメリザンド》などを振った。

ロンドンでの多忙なコンサート・スケジュールの合間を縫って、ラトルは定期的にヨーロッパ、北米、アジアでツアーをおこなっており、ウィーン・フィルやボストン響、フィラデルフィア管などを指揮している。2019/20年シーズンのハイライトには、ベルリン・フィルとベートーヴェンの《オリーヴ山上のキリスト》、オペラでは《ばらの騎士》(メトロポリタン歌劇場)、《ヴォツェック》(エクサン＝プロヴァンス音楽祭)、《イドメネオ》(ベルリン国立歌劇場)などが挙げられる。

イギリス女王エリザベス2世から、1994年にナイト勲章を、2014年の新年にはメリット勲章を、それぞれ授与されている。



エルザ・ドライジグ

(ソプラノ)

Elsa Dreisig, Soprano

©Simon Fowler-Erato Warner

パリ音楽院などで学び、2016年にドミンゴが創設したコンクール「オペラリア」の女性部門で第1位。同年のオペルンヴェルト誌では年間最優秀に選ばれるなど評価が高い。その後ロイヤル・オペラ《魔笛》でパミーナ役などを歌い、世界の主要歌劇場で活躍。ラトル指揮ベルリン・フィルとの「天地創造」や、W=メスト指揮ウィーン・フィルの公演にも出演している。



エリーザベト・クールマン

(メゾ・ソプラノ)

Elisabeth Kulman, Mezzo-soprano

©Marija Kanizaj

ウィーン国立音楽大学で学び、2001年に《魔笛》パミーナ役でデビュー。2005年からはメゾ・ソプラノやアルトとして世界の主要歌劇場でワーグナー、ヴェルディまで様々な諸役を歌ったが、2015年からは深い美声と知性でコンサート活動に専念している。ラトル、ヤンソンス、ブロムシュテット、クルレンツィスといった錚々たる指揮者たちと共演し、再演を求められる名歌手。

合唱 関西二期会合唱団 神戸市混声合唱団

Chorus びわ湖ホール声楽アンサンブル

ほか有志

声楽のプロフェッショナル集団である「関西二期会」、「神戸市混声合唱団」、「びわ湖ホール声楽アンサンブル」ほか、「ロンドン交響楽団京都公演」のためだけに関西の声楽家陣が集結する。全員が「ソリスト級の歌手」であり、百名余りの大合唱団で圧倒的な歌声を響かせる。



公式HP <https://www.kyotoconcerthall.org>

Facebook 京都コンサートホール Kyoto Concert Hall

Twitter 京都コンサートホール @KCH_Kyoto

公式ブログ <https://www.kyotoconcerthall.org/blog>

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-26(地下鉄烏丸線「北山」駅下車①③番出口南へ徒歩約5分)



ゼロホームは、
京都の音楽振興事業を応援しています。

100年住宅の
ゼロホーム 0120-021-046



今出川住宅展示場モデルハウス

<https://zerohome.jp/>

ゼロホーム

検索